

県下の交通事故

(平成10年6月20日現在)

区分	発生件数	死者	傷害
平成9年	2,732件	48人	3,621人
平成10年	2,819件	42人	3,723人
比較	+87件	-6人	+102人



◇ 第123号 ◇  
 発行所 甲府市丸の内一丁目9-11  
 〒400-0031 甲府市丸の内一丁目9-11  
 県民会館2階  
 財団法人 山梨県交通安全協会  
 山梨県交通安全活動推進センター  
 (0552) 32-4682  
 TEL 甲府 (0552) 37-7827



信玄公祭前に行われた甲府安協等の交通安全パレード

# 夏の交通事故防止 県民運動

7月21日(火) から 8月20日(木) まで

- 運動の重点**
- 一 高齢者と子供の交通事故防止
  - 二 若者の無謀運転及び暴走族の追放
  - 三 シートベルト着用 の徹底

夏の行楽シーズンと生徒等の夏休みが重なり、交通事故の多発や若者による暴走運転が心配されています。この運動は、県民一人ひとりに交通安全知識を普及して交通安全意識を高め、交通ルールを守り交通マナーの実践を習慣づけて、交通事故や暴走族を追放しようと山梨県が独自に行う県民運動です。

## 県民一人ひとりが主役

### ●交通事故の発生状況

全国における交通死亡事故は減少傾向を続けていますが、本県では厳しい状況が続く、六月二十日現在で四十二人(前年比六名減)ですが、特に五月中に二十人死亡という異常の状態が続く、憂慮されています。

なっており、今年度の重点(別掲)は、運動の結果に基づき取り上げられたものです。

高年齢者(六十五歳以上)の死者は、昨年中二十八人(前年比六人減)、うち歩行中が十三人です。今年六月二十日現在十三人で、全死者の三十一%を占め、特に、今年

は車両運転中の事故が多くなっています。高年齢者の死亡事故抑止対策を推進することが死者数減少につながります。

●高年齢者と子供の交通事故防止  
 ○子供(十五歳以下)の死者は、昨年中二人(前年比増減〇)でしたが、六月二十日現在死者は幸いできていませんので、夏休中も気を引き締めてこの記録を続けましょう。

●若者の無謀運転及び暴走族の追放  
 若者(十六歳から二十

四歳)が第一当事者となつて死亡した人数は、六月二十日現在十三人で全死者の三十一%を占めていますので、将来わが国の担い手である若者を事故から守りましょう。

真夏の夜の爆音走行は安眠をさまたげる暴力行為でもありますので、県民をあげて暴走族を追放しましょう。

●シートベルトの着用の徹底  
 シートベルトは命綱といわれ、万が一事故に遭った時でも助かります。六月二十日現在の交通死亡事故のうち、着用対象者二十一人中着用者は五人のみで、非着用者十六人について着用している人は、四人といわれます。

交通安全教室の開催。交通安全教室の開催。交通安全教室の開催。交通安全教室の開催。



主任。「課長、残念ですが先程〇〇署管内でノーヘルの原付と普通車が交差点で衝突し、原付の運転者が死亡したというので、第一報が入りました。」

平成十二年までに全国で交通事故死者を九千人以下に抑えるという交通安全基本計画の目標を達成するため、県内では二桁台の可能な限りの少数に減少することを旗印に、県警察は現在、総力とすこれに取り組んでいます。

交通安全意識の高揚や啓蒙・啓発運動の推進を図らなくてはならぬと、思いを新たにするのです。

交通安全教室の開催。交通安全教室の開催。交通安全教室の開催。交通安全教室の開催。

交通安全教室の開催。交通安全教室の開催。交通安全教室の開催。交通安全教室の開催。

## 安全意識の高揚

県警交通部長 依田 茂



このような運動の輪が更に広がると、交通安全の実現は可能で、「守ろうよ、人も車も約束を」「ゆずり合う心のゆとり」と思いやり「運転は、気くばり、目を心の糧に、交通事故を防ぎましょう。」

交通安全教室の開催。交通安全教室の開催。交通安全教室の開催。交通安全教室の開催。

交通安全〇〇課内では、こんな執務風景が数回ありましたが、私達は各警察署からの報告に接し、その都度、我がこととして一喜一憂しています。

と、ここで連日連夜発生する多くの痛ましい交通事故を減少させる特効薬的施策はないものかと模索するなかで、やはり原点は、県民すべての皆様のご理解とご協力を得

交通安全教室の開催。交通安全教室の開催。交通安全教室の開催。交通安全教室の開催。

交通安全教室の開催。交通安全教室の開催。交通安全教室の開催。交通安全教室の開催。

交通安全教室の開催。交通安全教室の開催。交通安全教室の開催。交通安全教室の開催。

交通安全スロガンは昭和四十年から警察庁等協賛で公募されていますが、示唆に富む作品が多く、「世界の願い 交通安全」は万国共通の望み、また「狭い日本、そんなに急いでどこに行く」は、わが国の交通事故増加に対する憂慮です。

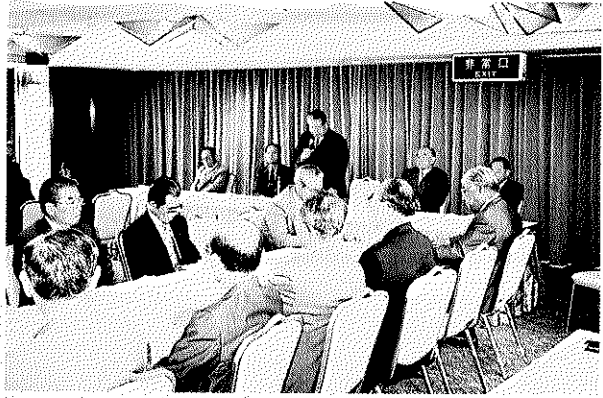
(次回から筆者が交替します)

# 県安協が交通安全の中核に

## 平成九年度事業・決算を承認

### 県安協理事・評議員会開催

県交通安全協会は、五月二十八日甲府市内の古名屋ホテルで理事・評議員合同会議を開き、平成九年度の事業報告及び収支決算報告を承認しました。今年度は役員改選期でしたが、勇退された役員は留任し、新たな副会長に山寺嘉一郎氏（葦崎安協会長）が選任されました。



県安協の理事・評議員会議

同会議では、志村哲良会長が欠席されたため、山寺副会長（大月安協会長）が代理をつとめ、県安協は、道交法の改正で本年四月一日から、従来から行っていた広報啓発活動や交通安全教育等に新たに交通事故相談業務等が加わり、県安協員会から山梨県交通安全活動推進センターの指定を受けた。これは法律が中核になるように規定したもので一層役員が一致団結して頑張りたいとあいさつしました。

続いて議事に入り、平成九年度の事業報告（別掲）と収支決算報告が審議されて承認されました。このあと役員改選が議案として取り上げられ、志村哲良会長以下現役員が再任されました。

また、永年県安協の副会長や理事等の要職を十三年間勤められた松田良一氏（小笠原安協前会長）が勇退され、後任に山寺嘉一郎氏（葦崎安協会長）が就任し、また新理事・評議員も選任されました。

最後に、県警本部依田茂交通部長から、県内の交通情勢について説明を受け閉会しました。

# 茂手木氏ら10人と市川安協

## ～関東管区表彰に輝く～

### 交通安全功労者等表彰式

主催 関東管区交通安全協会連合会



表彰式の会場で記念撮影（東京・虎の門パストラル）

関東管区交通安全協会連合会（三鬼彰会長）の平成十年度交通安全功労者等表彰式が、五月二十九日東京虎の門パストラルで開かれ、交通功労者、優良安協、優良職員等の表彰が行われました。

交通功労者は、茂手木厳氏（甲府安協副会長）以下十氏で、夫人にも内助の功により管区連合会長から感謝状が贈られました。

また、優良交通安全協会表彰は、市川交通安全協会（八木吉治会長）が受賞しました。

本県関係の受賞者は次のとおりです。（敬称略）

〔関東管区警察局長・関東管区安協連会長の連名表彰〕

# 無事故・無違反に挑戦

## チャレンジ200開始式

### チャレンジ200開始式

県交通対策推進協議会（天野建知事）主催、県警察、県安協等交通関係機関・団体協賛の「平成十年度セーフティードラ」が六月十五日から始まり、十二月三十一日までの二百日間、十人チームで無事故・無違反を競うものです。

○優良交通安全協会職員 小林泰治（県安協事務局長）、伊沢力（交通安全活動推進センター）

○優良交通安全協会 市川交通安全協会（八木吉治会長）

○交通安全協会 木吉治会長

○交通安全協会 野武勇（南甲府）、伊東今朝次（小笠原）、滝好文（南部）、齋藤温（市川）、三枝力（石和）、塚野井銀雄（日下部）、塚越登（塩山）、高下漢都（富士吉田）、中田好光（大月）



チャレンジ200開始式前の状況

を競うものです。第六回目となる今年には、県民の関心が高く、参加チームは千五百八十四チーム（一万五千八百四十人）と昨年より五十六チーム増加するなど、定着した大規模の大会となりました。

続いて参加者であることと表示参加者票が代表者を通じて渡され、日下部交通安全母の会から参加した奈良文子さんが参加チームを代表して、「無事故・無違反を達成します」と力強く宣誓して終了しました。

# 死者は減少

## 春の交通安全運動

春の全国交通安全運動は、四月六日から十五日までの十日間、運動の重点を「子どもと高齢者の交通事故防止」と「シートベルト着用」の徹底に絞りました。

○行事等への参加者 警察官 三、五五〇人 交通関係機関・団体 二〇、四七〇人

○期間中の交通事故発生 一一五件

死者 二八人（一人減） 傷者 一五八人（二一人増）

○子どもの交通事故発生 八件（一件増） 死者 なし（増減〇） 傷者 四人（増減〇）

○高齢者発生 一九件（十件増） 死者 なし（増減〇） 傷者 一人（九人増）

○シートベルト着用率 事故当事者のシートベルト着用率は、八四・三％で昨年の同期調査時より四・六％アップしています。

# 二輪車事故の防止活動

## 県安協で各種施策を推進

県交通安全協会は、県警察、山梨県、県教育委員会、甲府市、県交通安全母の会の協力を得て、オートバイや自転車等二輪車による事故防止を図るため、四月から六月にかけて、甲府市内の二輪車機山において、各種会議を開きました。

○県二輪車安全運転推進委員会

四月二十七日、県安協と県二輪車安全運転推進委員会とは、本年度実施予定の「原付免許取得時の法定講習」・「高校生二輪車安全運転講習」・「高校生二輪車安全運転講習」・「高校生二輪車安全運転講習」等の講習会を強力に推進することを決定しました。

○高校生二輪車安全運転打合せ会議

五月七日、県安協等は二輪車に関心の深い県下の高校生を対象に毎年実施している「原付講習」をより充実したり、二輪車安全運転大会の効果的な推進方法を検討しました。



県二輪車安全教育推進委員会

# 平成九年度事業報告

- 交通安全運動の実施
  - 春・秋の全国交通安全運動
    - 黄色い羽根・ポスター、ビラ等配布
    - 夏・年末年始交通事故防止県民運動に賛助
  - 交通安全功労者等表彰
    - 関東管区安協連表彰
      - 5・23東京虎の門パストラルで功労者十人、優良安協同団体などが受賞
    - 優良指導員表彰
      - 11・21運転免許センターで指導員一人を表彰
    - 県安協表彰
      - 10・1・20県立文学館講堂
      - 管区表彰伝達、二団体十人、〇緑十字銅章伝達、百十人、〇県安協等表彰、十八団体、三百六十六人を表彰
  - 第38回交通安全国民運動中央大会の表彰
    - 10・1・28日比谷公会堂で緑十字銅章一人、銀章五人
- 優良団体の表彰
  - 優良団体の表彰
    - 優良団体の表彰
      - 優良団体の表彰

五月中の交通事故死者数が二十人を数え、この状況が続くと目標の死者二ケタの確保に赤信号ととらえた県警は緊急の事故抑止対策を実施中ですが、この運動に県安協も協賛しています。

### 県警が緊急抑止対策推進 交通事故死者続発に対応

死者二十人中、高齢者が九人と四五%を占め、それも車両運転中が多く、さらに若者が六人と続き、また事故原因別では速度超過や信号無視等が多くなっています。

このため、県警は県安協と協力して、高齢者の交通安全意識を高めるためのチラシの作成配布や安協役員等による高齢者宅の訪問及び山日新聞広告等による広報啓発活動を行っています。

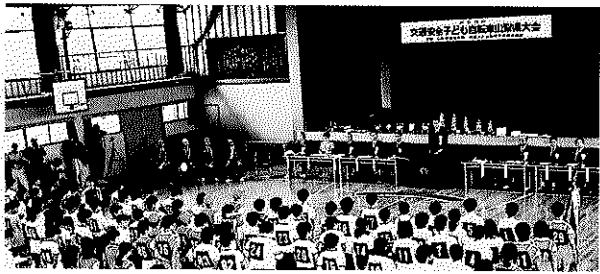
### 高根東小が全国大会に出場 交通安全子供自転車大会

県警察本部と県交通安全協会共催、山梨県及び山梨日日新聞社等後援の「第29回交通安全子ども自転車大会」は、六月二十八日(日)昭和町の押原小学校で開かれ、この大会は、小学校児童に対する自転車の安全に対する自転車の安全教育の効果を高めるため、競技を通じて交通ルールやマナーを身につけさせ、交通事故防止を図ろうとする参加、体験型の交通安全教育の一環として行われているものです。

大会には、県内の四十四交通安全協会の代表十四校十九チーム、八十九人の小学生が参加して、学科(六百分)、実技(五百点)の二種を計千百点の持ち点からの減点方式で競い、手に汗を握る熱戦がくりひろげられました。

この結果、団体では、高根東小学校が上位三選手合計三千二百三十五点で優勝しました。

個人では高根東小学校の窪田裕士(六年生)選手が、減点わずか十点という高得点で優勝、二位は千八百五十五点の佐野達也(六年生)選手でした。



競技前の開会式の様子

学科テストの満点者は十一人で昨年より六人増、実技走行も高得点者が多く出るなど立派な成績でした。

昨年度に続き優勝した高根東小学校チームは、八月五、六日に東京で開催される全国大会へ県代表として出場します。ご声援ください。

入賞した団体・個人は次のとおりです。

- 〔団体〕
  - 優勝(知事賞、管区局長・同安協連会長賞) 高根東小学校(A)
  - 準優勝(県議会議長賞) 万沢小学校
- 〔警察本部賞〕
  - 高根東小学校(B)
  - (県教育長賞) 旭小学校
  - (県安協会長賞) 北新小学校(A)
  - 六位畑倉小、七位北新小(B)、八位六郷小、九位御坂小、十位八田小
- 〔個人〕
  - 優勝(警察本部長・県安協会長賞) 窪田裕士(高根東小)
  - 準優勝(警察本部長・県安協会長賞) 佐野達也(万沢小)
  - 若林 剛(万沢小)
  - 浅川翔太(高根東小)
  - 渡辺宏光(万沢小)
  - 〔満点賞〕
    - 持田元康、中山祐来、山野裕貴(以上北新小)
    - 窪田裕士、浅川翔太、清水明香(以上高根東小)
    - 若林剛、渡辺宏光、森亨夢(以上万沢小)、小俣勇貴(旭小)、米山千春(畑倉小)

### 全国大会に向けライダー競う 二輪車安全運転県大会

山梨県交通安全協会と警察、山梨県教育委員会等後援の「第28回二輪車安全運転山梨県大会」が六月十四日八田村の運動免許センターで開催されました。

参加者は日ごろ二輪車を愛用している16歳から39歳までの四十八人で、この大会の優勝者は八月二日の両日、三重県鈴鹿サーキットで行われる全国大会に本県代表として出場できるため、その夢をかけた、安全運転の技量を競い合いました。

競技種目は、一般B(四〇〇ccを超えるもの)、一般A(四〇〇cc以下)、高校生(一二五cc以下)、女性(一二五cc以下)の四クラスにわけ、それぞれ法規走行と技能走行の各種目について厳しく審査されました。

入賞者は次のとおりです。



緊張した面持ちで臨む開会式

- 〔男性クラス〕
  - 優勝(知事賞) 村松由里
  - 準優勝(県安協会長賞) 浅川成美
- 〔女性クラス〕
  - 優勝(県安協会長賞) 矢高利美
  - 準優勝(県安協会長賞) 清水優也
- 〔高校生クラス〕
  - 優勝(県警察本部長賞) 角田真司
  - 準優勝(県安協会長賞) 清水優也
- 〔一般Aクラス〕
  - 優勝(県議会議長賞) 佐野達也
  - 準優勝(県安協会長賞) 石原久敬
- 〔一般Bクラス〕
  - 優勝(県議会議長賞) 細川真二
  - 準優勝(県安協会長賞) 加藤彰一
  - 六位 秋山兼一

### 安協だより

第二次交通戦争と言われる昨今、一件でも多くの交通事故を防ぎ、その犠牲者を無くそうと、私たち菲崎交通安全協会では交通安全防止活動に積極的に取り組んでいます。

昨年は、当菲崎警察署管内の交通死亡事故を前年比でマインス三名に抑え、増加傾向にあった死者数にストップをかけることができました。

また、昨年は管内の市町村で「交通安全条例」が制定され、警察や市町村等と安協等の交通安全関係機関、団体とが地域の交通安全活動を一体となつて推進することになり、当安協も菲崎署等の指導を受けながら各種の支援や協賛活動を行っています。

昨年当協会で行なった交通安全防止活動の紹介をします。

### 死者数にストップ 菲崎安協会長 山寺嘉一郎



交通安全活動を一体となつて推進することになり、当安協も菲崎署等の指導を受けながら各種の支援や協賛活動を行っています。

昨年当協会で行なった交通安全防止活動の紹介をします。

一 家庭・職場・地域の全参加型交通安全活動

交通安全防止意識の醸成を図るため、警察管内市町村、安協等交通安全関係機関・団体による地域ぐるみの「交通安全フェスティバル」を大規模に開催し成功したので続けた行事です。

二 死亡事故抑止のための緊急対策の推進

警察や市町村等と交通死亡事故抑止緊急対策を前半と後半に二回実施しました。その際、安協役員が街頭での広報活動や監視活動「電光掲示板」を設置し、交通事故等の発生や事故防止を呼びかける交通情報を常時広報してドライバーに注意を喚起しています。

以上、主な活動を紹介させていただきます。

作戦(安全旗一、〇〇〇本)等を推進した結果、死者数を前年比三名減少という成果をおさめました。

三 交通事故防止のための各種対策の推進

全国交通安全運動や県民運動等では特にシートベルトの着用と飲

酒運転追放を呼びかけ、また婦人部員による高齢者家庭の個別訪問の実施や事故防止の徹底を図るための広報チラシの全戸配布を実施しました。また、菲崎署前に事故防止用の「電光掲示板」を設置し、交通事故等の発生や事故防止を呼びかける交通情報を常時広報してドライバーに注意を喚起しています。

以上、主な活動を紹介させていただきます。

作戦(安全旗一、〇〇〇本)等を推進した結果、死者数を前年比三名減少という成果をおさめました。

三 交通事故防止のための各種対策の推進

全国交通安全運動や県民運動等では特にシートベルトの着用と飲

### シグナル

一線で勤務する交通警察官に仕事で辛いことは何かと尋ねると、異口同音に交通事故の犠牲者となった遺族への連絡とその後の対応と答えるでしょう。

交通事故の悲惨さは、朝、笑顔で出かけた夫、妻、子どもなどと、夕べには病院のベッドに痛ましい姿で横たわる、不帰の人となつ

### 交通警察官の心情

た者が対面しなければならぬことです。立会いの交通警察官には、駆けつけて、すがりついて号泣する遺族にかけられる無力量を感じ、悲嘆にくれるものです。

交通事故は、運転者と無責任な運転者への憤りを胸に秘め、悲惨な交通事故をなくすために、心を鬼にもするといふ厳しい心情を持って、日夜、悪質、危険で迷惑な交通違反者の取締りを行っているのです。ご理解をいただきご協力をお願いします。

(交通指導課次席 深澤俊樹)

自動車や原付自転車には必ず任意の自動車保険をつけよう。

損害保険代理店  
株式会社 たいよう共済山梨支店

甲府市丸の内2丁目32-13  
日東ビル4階  
TEL0552-28-0691

### 自治体が中心 になって設立

#### 甲府安協新石田支部

甲府市石田地区は、甲府・南甲府警察署管内に分割されていましたが、平成九年四月一日から、同地区内の高畑・上石田・下石田管内を統一して甲府署が管轄すること

になりました。この警察署の管轄替えを機に、甲府交通安全協会では、従来からの石田支部と高畑・下石田支部を合併して新たな支部を設立させるため、同地域連合自治体と連携をとりながら検討を進めてきました。その結果、今年五月二

十二日に、石田悠遊館において、甲府安協「石田支部」を設立させるための総会を開きました。設立総会には、窪田正英甲府署長、土橋七六県安協常務理事、地元選出の県会議員、甲府市会議長の来賓、並びに石田自治連合会役員及び秋山登甲府安協会長ほか新石田支部役員等七十人が参加して開催されました。会議では、佐藤健自治連合会長等が、設立までの関係者の労をねぎらったあと、設立経過報告等を行いました。

田支部役員等七十人が参加して開催されました。会議では、佐藤健自治連合会長等が、設立までの関係者の労をねぎらったあと、設立経過報告等を行いました。

### 地区だより

#### 春の全国交通安全運動

春の全国交通安全運動は、四月六日から四月二十五日までの間、「子どもと高齢者の交通事故防止」と「シートベルトの着用徹底」を運動の重点として行われました。県下の交通安全協会では、各種活動の中心となつて活躍をいただき、本当にご苦労さまでした。期間中の皆さんの活躍ぶりをご紹介します。



交通安全ふれあいパレード (甲府)



黄色い羽根の配布活動 (荏碓)



高齢者交通安全実践促進大会 (小笠原)



安全運動出発式 (南甲府)



街頭指導所の開設 (市川)



身延山修業僧による交通安全行脚 (南部)



一日婦人警察官委嘱式 (鯉沢)



電子ディスプレイ運用開始式 (富士吉田)



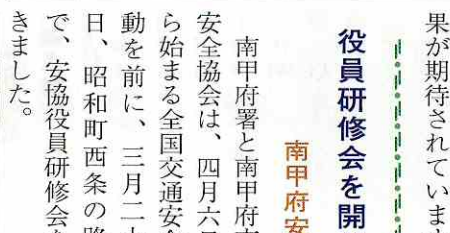
交通安全パレード (都留)



街頭指導所の開設 (塩山)



交通安全誓いの火点火式 (大月)



#### 役員研修会を開催

南甲府署と南甲府交通安全協会は、四月六日から始まる全国交通安全運動の前に、三月二十六日、昭和町西条の路上で、安協役員研修会を開きました。

同支部は、自治会が中心となり発足に至った経過からみても、安協と自治体が不離一体となり交通事故防止に向けての成果が期待されています。



#### バイクの安全運転講習会を開催

#### 塩山高校

塩山警察署(村松幸男署長)と山梨県二輪車安全運転推進委員会(奈良田幸夫委員長)は、塩山高校の協力を得て四月十一日、同校でバイク通学希望者を対象に安全運転講習会を開きました。

講習会は、三百三十三名の受講者を代表して、三年生の種田雅幸君が「正しい運転の励行に努め、毎日の学校生活を安全に送ります。」と宣言した後、新規に免許を取得した二百四人の生徒を二班に分け、塩山署員、白バイ隊員、二輪車安全運転推進委員会の指導員二十五名が指導しました。校庭に設けられたコースで実際に50ccバイクを運転させ、ブレーキ操作、ハンドルさばき等の運転技術を中心とした技能講習を行いました。

また、すでにバイク通学している生徒と、免許取得予定の生徒に対しては視聴覚教室を利用して、交通事故事例を中心とした交通安全啓発ビデオによる講習を実施しました。

#### 「TSMマーク」で自転車の安全と安心を

自転車事故を防ぐためには、良く点検、整備された自転車に、ルールとマナーを守って正しく乗ることが大切です。

点検、整備された自転車の印が「TSMマーク」です。

TSMマークには、一年間有効の賠償責任、傷害保険がついていますので、万一の場合には入院見舞金など補償されます。

詳細については、自転車安全整備店の章が表示してあるお店にお尋ね下さい。

- ★各車種の免許(大型・普通・大特・けん引の各第一種、第二種免許及び普通二輪免許)の取得ができます。
- ★早朝・夕方・日曜その他あなたの生活条件に合わせた教習が受けられます。

財団法人  
山梨県交通安全協会経営  
公認 **山梨自動車学校**  
中巨摩郡八田村野牛島1828  
(運転免許センター内)  
TEL (0552) 85-0752

定期的に自転車安全整備店へ行って点検や整備を受けましょう。点検整備済みの普通自転車にはTSMマークが貼付されます。

**高齡運転者標識**

各地区安協窓口で販売しております。

安全整備士のある店  
自転車安全整備店の章  
第二種TSMマーク